

日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会

自然地理学・環境防災教育小委員会

(第 25 期・第 1 回)

議事要旨

日時：2021 年 5 月 7 日（金）10:00～12:10

場所：オンライン会議（Zoom 使用）

出席者：春山成子、阿部彩子、奥村晃史、久保純子、近藤昭彦、篠田雅人、鈴木康弘、増田聡、須貝俊彦、宇根 寛、木村圭司、小岩直人、後藤秀昭、齋藤 仁、南雲直子、丹羽雄一、長谷川直子、八反地 剛、早川裕弼、堀 和明、山縣耕太郎、山口 勝、山中 勤、山野博哉

欠席者：日下博幸、鈴木毅彦

議事

(1) 今期の体制

- ・委員の自己紹介を行うとともに、委員長を須貝委員、副委員長を山野委員、幹事を南雲委員とすることを確認した。
- ・メールの宛先の記載方法や議事録の確認方法について周知を行った。

(2) 周辺状況

- ・24 期委員会による提言（「地理総合」で変わる新しい地理教育の充実に向けて一持続可能な社会づくりに貢献する地理的資質能力の育成）の内容を確認した。
- ・2021 年 3 月の日本地理学会春季学術大会において地理教育に関するシンポジウムを開催した。事前にプレスリリースを行ってメディア向け意見交換会を開催した。
- ・日本地理学会災害対応委員会では 3 月の学会で災害地理学の特別セッションを開催するなど、社会への発信を続けている。
- ・地理学を専攻する大学生の教育機会確保を目的に、昨年度「自然地理学オンラインセミナー」を実施した。本委員会の委員を中心に講義を提供して全 12 回で開催し、毎回 100～200 人の参加があった。2021 年度も 5 月 15 日から実施予定である。
- ・2022 年 4 月の新学習指導要領施行に向けた教科書検定が行われた。教科書については今後も本委員会で議論を継続したいとの意見があった。
- ・コロナの影響と対応、気候変動適応に関する状況について、次回の委員会で意見交換することとした。

(2) 活動方針

- ・地理総合の実施に向け、教育現場からは GIS や防災、フィールドワークに関する質問や出前講義の要望があるとの意見があった。教育現場で求めているものは何か、提案できるも

の何か、について、本委員会で継続的に議論していくこととした。

(3) 教材資料集作成

・地理教材資料集の未執筆項目は新規委員で分担し、夏頃までに完成させる予定である。次回委員会で担当を確認することとした。

(4) その他

・次回は5月23日。地理教育分科会および所属各小委員会合同会合時のブレイクアウトで本委員会を開催する。